

English Abstract of JP 4-40680 U

"Skate Mounting Ratchet Apparatus"

The skate mounting the ratchet (3, 7, 8) in wheel (1).

JP S-50100U

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

平4-40680

⑫ Int.Cl.

A 63 C 17/00
17/14

識別記号

府内整理番号

7008-2C
7008-2C

⑬ 公開 平成4年(1992)4月7日

審査請求 有 請求項の数 1 (全1頁)

⑭ 考案の名称 つめ車装置を取付けたローラースケート

⑮ 実 頼 平2-81230

⑯ 出 頼 平2(1990)7月31日

⑰ 考 案 者 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

⑱ 出 願 人 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

⑲ 実用新案登録請求の範囲

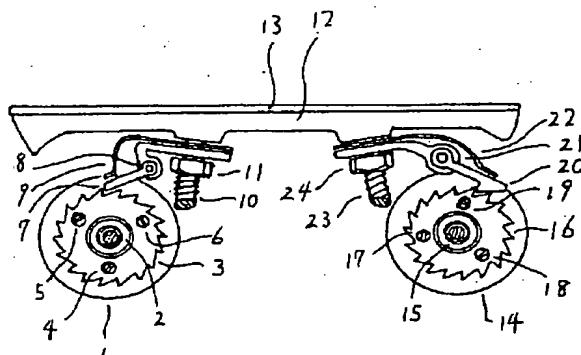
車輪に、つめ車装置を取付けた構造のローラースケート。

図面の簡単な説明

図面は、断面部を含む本考案の側面図である。

1……車輪、2……軸受け、3……つめ車、
4, 5, 6……ボルトの頭部、7……つめ、8…

…中空軸、9……バネ、10……ボルト、11…
…ナット、12……台、13……台の平らな面の
厚み、14……車輪、15……軸受け、16……
つめ車、17, 18, 19……ボルトの頭部、20…
0……鉤状のつめ、21……中空軸、22……バ
ネ、23……ボルト、24……ナット。



公開実用平成4-40680

⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報(U)

平4-40680

⑬Int.Cl.*

A 63 C 17/00
17/14

識別記号

庁内整理番号

⑭公開 平成4年(1992)4月7日

7008-2C
7008-2C

審査請求有 請求項の数1(全頁)

⑮考案の名称 つめ車装置を取付けたローラースケート

⑯実願 平2-81230

⑰出願 平2(1990)7月31日

⑱考案者 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

⑲出願人 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

明細書

1. 考案の名称 つめ車装置を取付けた
ローラースケート。

2. 実用新案登録請求の範囲

車輪に、つめ車装置を取付けた構造
のローラースケート。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、車輪に、つめ車装置を取付
けた構造のローラースケートに関するもの
である。従来、ローラースケートで走行する
時は、側方に蹴り出さなければならぬ
為に、60度程度の路幅では、慣性走行
しか出来なかつたが、この考案のローラースケ
ートは、車輪に、つめ車装置を取付けた

903

(1)

実開 4- 40680

構造である為に、車輪は回転方向により、回転を停止し、或いは空転をするので、60釐程度の路幅でも、後方への蹴りによって加速出来る効果があり、又、二輪配の急坂も、歩く姿勢で登坂出来る効果があり、交通や、安全に支障を生じない環境に於いては、ローラースケートの用途を多くする。

次に、図面の図例により、説明をすると、図面で示すものは、本考案の内容を前進方向の右側の各車輪により、説明をすることである。左側も、右側と同様であるから、図面と説明とを簡単明瞭にする為に、図示を省略してある。

図面の中で、先づ、前方の車輪と、その関連部材について説明をすると、車輪(1)に、つめ車(3)を取り付ける。この際には、取付け用の材料、種類等は任意であるが、この図例では、ボルトを用いており、ボルトの頭部(4、5、6)で示す各ボルトが、車輪(1)と

、つめ車(3)とを貫通して、相方を取付け
固定する。

軸受け(2)が、破断面で示す車軸を包围
し、回動自在に支持する。

つめ車装置の種類、構成等は任意であるが
この図例では、つめを外側に持つており、

そして、つめ車(3)とかみ合う、つめ(7)
の他方の端部は中空軸にしてあり、それを
動作自在に支持する中空軸(8)の相方に、
ピン、ボルト等の軸状部材を貫通させるもの
であり、つめ(7)を、つめ車(3)に押し
付けるバネ(9)の他方と及び、中空軸(8)
の他方の、各板状部には、それぞれ孔を設
けるものである。そして、それらの孔に、台
(12)の一部にネジ込まされているボルト(10)
を貫通させて、ナット(11)により
締め付けて固定する。

ローラースケートの靴ひの台には、この
図例以外のボルト、ナットが付設されてい

公開実用平成 4-40680

から、それらの取付け用の材料を使用するにとも出来る他、つめ車装置の台(12)への取付け材料の種類は任意である。

台の平らな面の厚み(13)を側面図により、示してある。

次に、後方の車輪と、その関連部材について説明をすると、車輪(14)に、つめ車(16)を取り付ける。以下に於いて、取付けに関する材料、種類等は、前方の車輪との関連部材の説明と同様に任意とする。

ボルトの頭部(17、18、19)で示す各ボルトが、車輪(14)と、つめ車(16)とを貫通して、相方を取付け固定する。

軸受け(15)が、破断面で示す車軸を包囲し、回動自在に支持する。

つめ車(16)とかみ合う、鉤状のつめ(20)の他方の端部は中空軸にしてあり、それを動作自在に支持する中空軸(21)の相方に、ピン、ボルト等の軸状部材を貫通させ

一字
抹消



るものであり、鉤状のつめ(20)を、つめ車(16)に押し付けるバネ(22)の他方と及び、中空軸(21)の他方の、各板状部には、それを水を含める孔を設けたものである。そして、それらの孔に、台(12)の他の一部にネジ込まれて、ボルト(23)を貫通させて、ナット(24)により、締め付けて固定する。

同図中で、前方のつめ車装置と、後方のつめ車装置のうち、中空軸(8、21)等を貫通させる為のピン、ボルト等の軸状部材の図示は省略してあり、更に、中空軸(8、21)等と及び、バネ(8、22)等の各他方の板状部に、それを水を含める孔についても、図示を省略してある。

又別に、同図中に示してあるボルト(10、23)は、それを一部に断面部を含む。

同図中と及び、本文のうちで、台(12)とは、各車輪を支持する支柱、枠等を取り付ける台のことであり、靴等の履物の図示は省略してある。

4. 図面の簡単な説明

断面部を含む
図面は、本考案の側面図である。

六字
押入

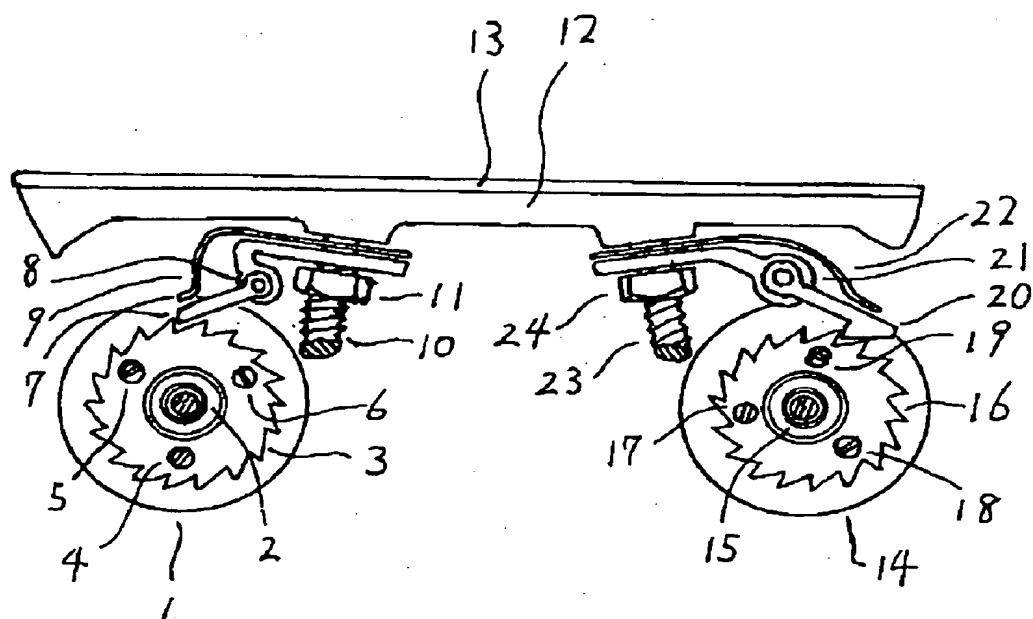
1…車輪 2…軸受け、3…つめ車、4、
5、6…ボルトの頭部、7…つめ、8…中空
軸、9…バネ、10…ボルト、11…ナット、
12…台、13…台の平らな面の厚み、14
…車輪、15…軸受け、16…つめ車、17
、18、19…ボルトの頭部、20…鉤状の
つめ、21…中空軸、22…バネ、23…
ボルト、24…ナット

実用新案登録出願人 佐々木 稔

908

(6)

図面



実用新案登録出願人 佐々木 稔

909
実開 4 - 40680